



ポリリック
シリーズ

深穴ホールソー 取扱説明書



動画公開中

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は大切に保管し、必要なときに読み返してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください

警告 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が死亡や重傷を負うおそれがある内容

注意 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が軽症を負う危険や物的損害の発生するおそれがある内容

警告

- ①作業場は、いつもきれいに保ってください。また、作業場の周囲の状況も考慮してください。雨中や暗所、可燃性の液体やガスのある場所で使用しないでください。
- ②無理な姿勢で作業しないで下さい。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。高所作業時には安全帯着用等の安全衛生規則に則った作業をしてください。
- ③作業時の服装には十分注意し、袖やズボンのすそ等が巻き込まれないようにしてください。
- ④目に切粉が入らないよう、保護メガネを必ず着用してください。また、粉じんの多い作業では、粉じんマスクを併用し、騒音の大きい作業では、耳栓やイヤーマフ等防音保護具を着用してください。
- ⑤指定された用途以外に使用しないでください。また、改造や分解は絶対にしないでください。
- ⑥作業中は振り回されないように、電動工具を両手で確実に保持してください。
- ⑦高所作業では切削片の飛び出し、落下の危険がありますので、十分注意してください。
- ⑧カッター及びセンタードリルの着脱時は、ばねにより押し出される構造になっています。落下・破損に注意してください。高所作業では特に注意してください。
- ⑨穴あけ直後のカッターや切削片は熱くなっています。火傷をしないよう保護手袋等を着用してください。ただし、カッター回転中は巻き込まれる危険がありますので、保護手袋は着用しないでください。
- ⑩カッター及びセンタードリルの着脱時は、保護手袋を着用し、刃先やセンタードリルだけが火傷をしないように注意してください。
- ⑪カッター着脱時ストッパーは、ばね力で強く押し出されますのでシャックとストッパーの隙間に手や指を挟まれないように注意してください。
- ⑫製品の着脱時は電動工具の電源を必ずコンセントから抜いて作業を行ってください。
- ⑬ご使用になる電動工具の「取扱説明書」をよく理解された上で、ご使用ください。

注意

- ①使用する製品・サイズにあった電動工具を使用してください。
- ②電動工具は回転モード以外で使用しないでください。ハンマー(打撃)・振動モードでの使用はカッター及びセンタードリルの破損原因となります。
- ③金属への穴あけは切削油を使用されると切削性が良くなります。
- ④穴あけ途中は、絶対に回転を止めないでください。刃先が噛み込み、抜けなくなる場合があります。回転を止める場合は、カッターを穴あけ対象物から引き抜いた後で止めてください。途中で回転を止めた場合は、回転を止めたままゆっくりカッターを引き抜いて下さい。
- ⑤1穴毎にカッター内の切削片、切粉を取り除いてから作業をしてください。
- ⑥切削片がカッターから出にくい場合はカッターをシャックから外し、棒状の物で刃先側へ押し出してください。

本製品について

仕様

<カッター>

刃先径 (mm)	有効長 (mm)
14~49	30
50~120	

<センタードリル>

品名	品番	ドリル径(mm)	適合刃先径(mm)
センタードリルス6	PCFCDS6	6	14~49
センタードリルス	PCFCDS	8	
センタードリルL	PCFCDL	8	50~120
センタードリルSH※	PCFCDSH	8	14~49(厚さ12mm以上)

※厚さ12mm以上の鋼板、鋳鉄、樹脂材料、複合材料の穴あけには、ネジ長の長いセンタードリルをご使用ください。

Sシャック用：品番：PCFCDSH / Lシャック用：品番：PCHCDS

<シャック>

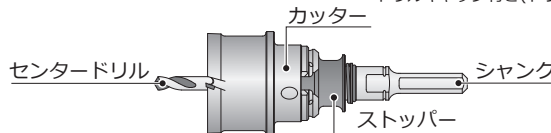
品名	品番	適合刃先径 (mm)	仕様
Sシャック	PCSKS	49以下	10mmストレートシャック
Sシャック SDSプラス	PCSKSR		SDSプラスシャック(軽量ハートドリル用)
Sシャック 200L	PCSKS200		10mmストレートロングシャック
Sシャック SDSプラス 200L	PCSKSR200	50~225	SDSプラスロングシャック
Lシャック	PCSKL		13mmストレートシャック
Lシャック SDSプラス	PCSKLR		SDSプラスシャック(軽量ハートドリル用)
Lシャック(10mm)	PCSKLT	50~80	10mmストレートシャック
Lシャック 200L(13mm)	PCSKL200		13mmストレートロングシャック
Lシャック SDSプラス 200L	PCSKLR200		SDSプラスロングシャック
Lシャック SDSプラス 300L	PCSKLR300	50~225	SDSプラスロングシャック
Lシャック SDSプラス 450L	PCSKLR450		SDSプラスロングシャック
Lシャック 200L(10mm)	PCSKLT200		10mmストレートロングシャック
Xシャック SDSプラス	PCSKXR	50以上	SDSプラスシャック(軽量ハートドリル用)

<センターピン式シャック>
厚い材料への穴あけに使用される
とセンタードリルの貫通が不要な
ので作業効率が良くなります。

品名	品番	適合刃先径 (mm)	仕様
Sシャック 深穴センターピン式	PCSKSCP	49以下	13mmストレートシャック
Lシャック 深穴センターピン式	PCSKLCP	50以上	13mmストレートシャック
深穴ホールソー用センターピン	PCFCP	—	S・Lシャック共通

ドリルキャップ付き(ドリルキャップ品番：PCSKDC)

<各部名称>



※図はLシャックです。



ユーザーと共に歩む

株式会社 **ミヤナガ**

受注センター

受付窓口 ☎0120-81-3875

〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴19番地

商品お問い合わせ窓口 ☎0120-3875-14

URL <http://www.miyanaga.co.jp>

F A X ☎0120-3875-17

4955725-11

● 使用条件

<電動工具の適正回転速度の目安>


刃先径 (mm)	回転速度(min ⁻¹)		
	鉄	ステンレス	複合材料
15	1270~850	1060~530	4240~1060
20	960~640	800~400	3180~800
30	640~420	530~270	2120~530
40	480~320	400~200	1590~400
60	320~210	270~130	1060~270
80	240~160	200~100	800~200
100	190~130	160~80	640~160
120	160~110	130~70	530~130

注意：上記は弊社標準条件における目安です。

被削材の材質や固定方法等により異なります。

<電動工具の消費電力の目安>

刃先径(mm)	消費電力
14~49	550W以上
50~80	650W以上
85~120	750W以上

 回転モード以外で使用しないでください。

- ・クラッチ付き電動工具を使用されることおすすめし
ません。
- ・厚さ12mm以上の金属への穴あけで、刃先径36mm以上
をご使用の場合は、ボール盤での使用をおすすめし
ます。

使用方法

- ①「使用条件」の欄を参考に、刃先径・被削材に適した電動工具をご使用ください。
- ②シャングを電動工具に取り付けてください。
- ③カッターを取り付けていない状態で右項の「センタードリルの着脱方法」をご覧になり、センタードリルをシャングに取り付けてください。
- ④穴あけ位置中心にセンタードリルを当て、電動工具を回転させセンタードリル穴をあけてください。
(センタードリル貫通後にカッターが被削材に急激に当たるのを防ぐために、先にセンタードリル穴
けをあけてください)
- ⑤カッターのシャングへの取り付けは下項の「カッターの取り付け方法」を参考にしてください。
※ Sシャング仕様のカッターで刃先径20.9mm以下を取り付ける場合は、「防塵キャップ」をはず
さないで取り付けできません。
- ⑥カッターが被削材に接した後、切削が安定するまで2~3秒程度ゆっくりと切り込んでください。
- ⑦穴あけ完了後、カッターは回転させたまま引き抜いてください。
- ⑧切削片がカッターより出しにくい場合は、カッターをシャングから外し棒状の物で刃先側へ押し出してください。

● 防塵キャップ

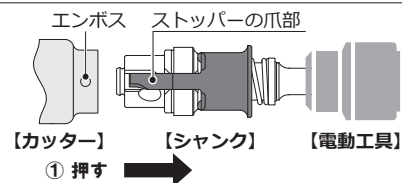
- ・ポリクリックシャング(S・L・Xシャング)には、センターピンやセンタードリル挿入口へ切粉
が入るのを防ぐために防塵キャップが付いています。(下図)
- ・防塵キャップを装着したままで、センターピン・センタードリルの着脱が可能です。
(Sシャング仕様のカッターで、刃先径20.9mm以下の場合ははずしてください)
- ※単品での発売も行っています。
Sシャング用：品番 PCBSC
L・Xシャング用：品番 PCBCL

防塵キャップ

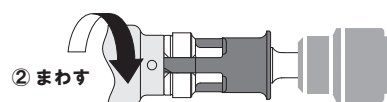


● カッター取り付け

- 1 電動工具にシャングを取り付けてください。
- 2 カッターのエンボス(丸型凸部)をシャングの
ストッパーの爪部に合わせ、そのままカッタ
をシャング側(矢印①)に押しください。
注 カッターとシャングに付着している切り粉
やごみ等の異物は取り除いてください。

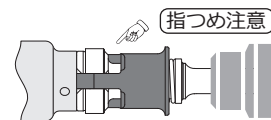


- 3 カッターをシャング端面まで押し込んだ状
態で、カッターを刃先側から見て右方向(矢
印②)に回してください。



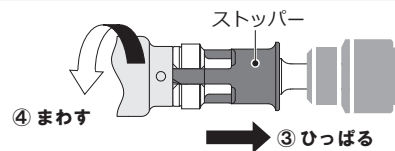
- 4 カチッと音がして、カッターがシャングに固定
されます。最後にカッターを引っ張って、しっ
かりと固定されたことを確認してください。

注 指を挟まれケガをするおそれがありますので、
ストッパーの付近に手を添えないでください。



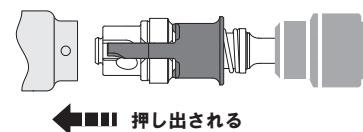
● カッター取り外し

- 1 シャングのストッパーを電動工具側(矢印③)に
引き上げた状態で、カッターを刃先側から見て
左方向(矢印④)に回してください。



- 2 ストッパーを引っ張っている力を少しずつ緩め
てください。カッターがストッパーによって押
し出され、取り出せます。

注 ストッパーから手を離すとカッターが飛び出し
ますので、ご注意ください。特に、高所作業時
は落下の恐れがありますので注意してください。



● センタードリルの着脱方法

- ①センタードリルをシャングに挿入してください。
- ②センタードリルを回転させながら押し込むと、シャング
内の突起とセンタードリルのL型溝の位置が合い、セン
タードリルはさらにシャングの奥まで入ります。
- ③センタードリルを奥まで押し込んだ状態で、さらに刃先
側から見て右方向(矢印③)に90度回転させて、センタ
ードリルを固定してください。
- ④取り付け後、センタードリルを引っ張っても抜け
ない事を確認してください。
注 センタードリルのシャング挿入部にグリスを塗布して
ください。センタードリルL型溝の変形が軽減されます。
- ⑤取り外す時は、センタードリルを軽く押し込みながら、
刃先側から見て左方向に90度回転させて抜き取って
ください。(センタードリルは押し込みすぎると回転しません)

